

No.6 多発している高温・低温環境 - 高温・低温物との接触の死亡災害事例（2019年）

2019 年 生 月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コード	労 働 者 規 模
6	12 ～ 14	被災者が工場での業務を終了し、帰宅のため駐車場に向かったが駐車場で倒れ熱中症により死亡したもの。	10109	715	11	100 ～ 299
7	16 ～ 18	工場内で、1日製造作業に従事していた被災者が、終業前の清掃作業時に倒れているところを、同僚に発見された。救急搬送されたが、翌朝、熱中症により死亡が確認された。	10602	715	11	100 ～ 299
8	18 ～ 20	工場内において、網入りガラスの四方に出ている網をサンダーで飛ばす作業の完了後、次の作業のため、移動台車に載ったガラスを取り出そうとした時、急に気分が悪くなり、熱中症により倒れたもの。その後、入院加療を続けていたが死亡したもの。	10902	715	11	50 ～ 99
7	10 ～ 12	造船工場のドックにおいて、船体を高圧洗浄機により洗浄する作業を朝から行った。20分間の休憩を取り、作業を再開したが、被災者が体調不良を訴えたため作業を中断した。熱中症の疑いがあったため救急搬送し、同日夕方に死亡した。	11501	715	11	10 ～ 29
7	12 ～ 14	アスファルト舗装工事現場において、路盤の転圧作業、アスファルト乳剤の散布作業及び表層の敷き均し後のふるいによる目潰し作業を行っていた被災者が体調不良を訴え、作業を中断してトラックの運転席で休んでいたが意識が無くなり、病院に搬送されるも、翌日死亡したもの。（熱中症）	30106	715	11	30 ～ 49
		造成工事において、施工管理の補助業務を担当していた被災者が、				

8	16 ～ 18	業務を終え、帰宅するため最寄り駅へ徒歩で向かった。同日に駅構内 の 에스카レーターを降りたところで倒れている被災者が駅利用者 に発見され、病院に搬送されて熱中症の診断を受け、治療していた が、8日後に死亡したもの。	30109	715	11	100 ～ 299
9	14 ～ 16	建設現場において、コンクリート打設作業を行っていたところ、被 災者が倒れた。その後、救急車で搬送されるも死亡に至る。	30209	715	11	30 ～ 49
8	14 ～ 16	一戸建て住宅の外壁改修工事の足場解体作業を午前中に作業員3人 で行い、昼休憩を取った後に解体した足場材をトラックの荷台へ積 み込む作業を行っていたところ、午後、被災者の具合が悪くなり、 トラック横の日陰で水を飲んで休憩していたが、午後に被災者を確 認するも見当たらず、探していると、約50m離れた住宅駐車場で うずくまっている被災者を発見し、病院へ搬送したが、熱中症によ り死亡したもの。	30209	715	11	10 ～ 29
8	14 ～ 16	改修工事において、玄関スロープ敷設のための段差のはつり作業 中、コンクリート片をしゃがんで集めていた被災者の動きが鈍いこ とに気づき、同僚が声をかけるも、発汗がなく、次第に応答もしな くなった。その後、搬送先の病院にて死亡したもの。	30209	715	11	1～ 9
8	10 ～ 12	災害当日、被災者は、熱中症嚴重警戒環境下において、鉄骨の荷下 ろし作業及び仮締め作業に従事していたものであるが、嘔吐の症状 が出現。休憩を取得し、飲食店に移動したが、同僚が食事中被災者 は車内で待機していた。正午頃、車内に被災者がいないことに気づ いた同僚が近隣を搜索したところ、意識を失って倒れていた被災者 を発見。医療機関に搬送されたが死亡した。	30209	715	11	1～ 9
8	10 ～ 12	ビニールハウス組立工事にあたり、被災者は気温31.6℃の環境 下で脚立を利用し陸梁を取り付ける作業を行っていたところ、脚立 に座り込み、その後ふらついた状態となった。そのため、被災者を 病院に搬送したところ入院措置となり、そのまま熱中症とみられる	30209	715	11	1～ 9

		症状により死亡したもの。				
10	14 ～ 16	アスベスト回収工事において、被災者は隔離養生前室内にある廃石綿入りの袋を、約40m先の集積コンテナまで手で運んでいた。被災者の体調不良に気付いた同僚が休憩室で休むよう伝えた約10分後、休憩室への途中で倒れている被災者が発見された。死因不明。外傷なし。服装は作業服（午前中はタイベック着用）。有害物、過重労働の可能性低。災害発生日の養生外の気温31.2度（WBGT記録なし）。	30309	715	11	1～ 9
8	14 ～ 16	上水道工事現場において、高温・多湿の環境下の中、被災者含め3名で上水道管の引込み作業を行っていた。午後に作業が終了したので自宅に帰宅した。その後、体調が悪くなったことから、被災者の家族が車で病院に搬送中、容体が急変、病院で治療を受けたが回復せず死亡した。	30309	715	11	30 ～ 49
8	16 ～ 18	災害当日、被災者はボーリング作業に1日従事し、当該ボーリング作業終了後の片付け作業中、熱中症を発症したため医療機関へ搬送されたが死亡したもの。	30309	715	11	1～ 9
8	10 ～ 12	被災者は工場内で木材チップを大型トラックに積み込み、発電所でショベルローダーを使用し、単独で積み降ろし作業をした。積み下ろし作業を終えた被災者本人から会社に体調がすぐれない旨の連絡あった。同所に荷物を運んでいた別のトラック運転手が様子を確認したところ、意識を失い座席に座ったままの被災者を発見した。	40301	715	11	30 ～ 49
7	14 ～ 16	荷主先においてトラックの荷台で積み荷作業を行っていた被災者が、救急搬送後、同日22時28分に死亡し、直接死因の原因が熱中症とされたもの。	40301	715	11	50 ～ 99
8	4 ～	被災者は、原付バイクで新聞配達を行っていたが、市道脇にバイクと伴に倒れていたところを、他社の新聞配達員に発見された。搬送先の病院で治療を行ったが、2日後に死亡（死因は熱中症）した。気象台統計によると、被災時の気温30度、湿度63%であり、W	80205	715	11	10 ～

	6	B G T 値が 2 8 度の「嚴重警戒」状態であった。被災日は台風接近の影響でフェーン現象が発生し、深夜でも高温状態が続いていた。				29
8	14 ～ 16	配達業務中に路上で倒れているところを発見され、救急搬送されるも翌日に死亡した。	110101	715	11	300 ～ 499
7	10 ～ 12	ゴルフ練習場内の草刈作業後に芝刈機の刈刃の高さを調整していたところ、午前に急に体調を崩したため、屋根がある休憩場所で休憩していた。その後も体調が回復せず、救急車で病院へ搬送、入院していたが、後日死亡した。当日の作業場所の気温は 3 5 度であった。（熱中症）	140301	715	11	10 ～ 29
7	20 ～ 22	ショーの練習のため、園内においてダンス等の練習を行い、夜に練習を終えて 3 0 0 メートルほど離れた控室に戻る途中で、着ぐるみを着ていた被災者が自力で歩けなくなり、仲間に両脇を抱えながら控室に戻り介抱されていたが、心停止状態となり、その後救急搬送された病院で死亡したもの。	140302	715	11	500 ～ 999
9	12 ～ 14	被災者は、高速道路上で通信ケーブル張替敷設工事に係る交通誘導規制作業及び警備業務を行っていた。工事終了後、資材車の助手席に乗り、矢印板テーパー等の撤去作業を行った。同僚は、荷台の整理を行うため、路肩に資材車を止め、整理作業を行っていたが、被災者が資材車から降りてこないため、様子を確認したところ、意識を失っていた。病院に搬送され、治療を行っていたが後日死亡した。	170201	715	11	10 ～ 29
8	14 ～ 16	被災者は岸改修工事で交通誘導員として現場の工事用車両の搬出入の誘導を行っていた。夕方頃、被災者の体調の異変を感じた同僚が休憩を指示し、被災者は休憩所に向かったが、2 5 分後、別の同僚が休憩所へ向かう途中にある公衆トイレの前で倒れている被災者を発見した。その後、被災者は救急車で病院に搬送され、死亡が確認	170201	715	11	100 ～ 299

		された。				
8	14 ～ 16	被災者が朝から交通規制に伴う交通誘導業務を行っていたところ、意識を失ったもの。なお、被災者が倒れたところを現認した者はいない。昼ごろに通行人が路上で倒れている被災者を発見し、病院に救急搬送されたが、後日熱中症の疑いで死亡した。	170201	715	11	10 ～ 29
7	14 ～ 16	掘削土砂運搬現場において、堤防上を警備していた交通誘導員がうつ伏せで倒れているのを通行したダンプトラックの運転手が発見して救急車で病院へ搬送されたが、熱中症により死亡したもの。 気象条件 天候晴れ 気温32.8度 風速0.5m/s	170201	715	11	10 ～ 29
9	12 ～ 14	令和元年9月9日午前から、被災者と同僚の2名で、太陽光発電パネル設置工事の予定場所に自生する希少植物を探し、工事予定エリア外に移植する作業を開始したが、正午頃、同僚とはぐれ被災者が行方不明になった。翌日搜索したところ、付近の草むらの中で倒れて死亡しているのが発見された。	170209	715	11	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_36.html